

## 出版デジタル機構、11月16日より配信開始 「コンテンツ緊急電子化事業」によって電子化されたコンテンツの配信が始まります 配信第一弾は、講談社「ブルーバックス」52タイトルに決定

株式会社出版デジタル機構（東京都千代田区神田神保町）は、経済産業省「コンテンツ緊急電子化事業（緊デジ）」によって電子化されたコンテンツを、11月16日より電子書店へ配信することが決まりましたのでお知らせいたします。

出版デジタル機構は、電子出版ビジネスの市場を拡大し、新規参入を促すインフラとして設立いたしました。初年度、力を注いできた事業のひとつとして、経済産業省「コンテンツ緊急電子化事業（緊デジ）」があり、弊社はこの事業の代行パートナーとして全面協力しております。

緊デジによって電子化されたコンテンツについては、今秋からの配信・販売開始を目指して準備を進めてまいりました。制作・進行管理システムの開発、取次・配信システムの協働構築、出版社・電子書店・電子取次との契約等、準備が整い11月16日（金）より配信を開始いたします。

第一弾として配信されるコンテンツは、講談社の自然科学系新書「ブルーバックス」52タイトル。同シリーズは1963年の創刊以来、1891タイトルを発行、累計発行部数は7000万部を数えます。

「ブルーバックス」は、特徴のひとつである図版の多さゆえに、これまで電子化が困難とされてきました。電子書籍のフォーマットには、フィックスとリフローがあり、フィックスフォーマットはあまり流通していない現状があります。しかしながら、フィックスフォーマットで電子化することによって「ブルーバックス」の特徴が活かされると考え、出版デジタル機構の配信第一弾タイトルとして企画いたしました。

今回配信されるタイトルは、ベストセラー『子どもにウケる科学手品 77』（1998年発行）をはじめ、人気が高く重版を重ねているタイトルばかりです。

取扱電子書店は、既に発表させていただきました「紀伊國屋書店 BookWebPlus」「kobo イーブックストア」をはじめ、「エルパカ BOOKS」「GALAPAGOS STORE」「コープデリ e フレンズ電子書店」「セブンネットショッピング」「どこでも読書」「TOP BOOKS」「BooksV」「BOOKSMART Powered by BOOKER'S」「Book Place」「BookLive!」「honto」「本よみうり堂デジタル」「MOBI-BOOK」（五十音順）を予定しております（取扱タイトル、発売開始時期は書店により異なる可能性があります）。

今回の第一弾を皮切りに、講談社、小学館等の大手出版社から中小出版社まで、あらゆる出版社の様々なジャンルのタイトルを、電子書店を通じて配信していく予定です。

今後の配信予定としては、偕成社、中央公論新社、筑摩書房、白水社、みすず書房の新書や学術系書籍、ネコ・パブリッシングの鉄道シリーズ「RM ライブラリー」、これまであまり電子化されていない絵本や図鑑、さらにコミックや文学作品、また、学芸出版社（京都）、創元社（大阪）、金港堂（宮城）といった関西や東北地域の出版社や、電子書籍を初めて手掛ける出版社の作品の制作も進行しています。

なお、出版デジタル機構はあらゆる端末、あらゆる電子書店、あらゆる出版社とお取引させ  
ていただくことを目標としております。

電子出版ビジネスのインフラを整備し、読者にとってよりよい読書環境を育む努力を続けてまい  
ります。

<株式会社出版デジタル機構について>

電子出版ビジネスの市場を拡大し、新規参入を促すインフラを構築すべく設立。あらゆる端末、あらゆる  
電子書店、あらゆる出版社を結ぶ架け橋となり、電子出版市場をつくっていくことを目的としている。

サービス名称の「pubridge（パブリッジ）」は、Publish（出版）と Bridge（橋）を組み合わせた造語。

商号：株式会社出版デジタル機構（サービス名称：パブリッジ）

代表取締役社長：野副 正行

設立：2012年4月2日

資本金：39億2800万円

URL：<http://www.pubridge.jp>

<コンテンツ緊急電子化事業（緊デジ）について>

電子書籍市場の拡大及びそれに伴う被災地域の知へのアクセスの向上に向けて、書籍の電子化作業に要す  
る製作費用を国が補助する制度。

補助金額（上限）約10億円、事業総額約20億円。

URL：<http://www.kindigi.jp>

このリリースに関するお問い合わせは出版デジタル機構（宮武、中村）までお願いいたします。  
TEL：03-3518-9750 MAIL：press@pubridge.jp